

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所 グループホーム あいの里シルバーマイツ

日付 平成19年3月15日
特定非営利活動法人

評価機関 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験9年

評価調査員 在宅介護経験12年

自主評価結果を見る (まだリンク先はありません)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

外部評価の結果

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

「ちょっとこれ、いい香りでしょう。ヒヤシンスですよ。匂ってみて」利用者みんなの鼻先に、このほのかな香りを届けているのは、丁度面会に来ていた さんの娘さんだ。母の居室だけでなく、ホームの中いっぱいに花を飾って、話の輪も広げている。他にも絵や写真を季節毎に変えてくれる、絵手紙の先生をしてくれる、居室を我が家のように飾って楽しむ。こんな家族がいっぱいだ。管理者は「家族はホームのパートナーです。立場は常に対等であり、お互いの考えや意見を言い合う事が出来る間柄でありたい」と言う。この願いを、利用者側もしっかりと受け止めて、ホームと利用者が、がっちり腕を組んだグループホームに成長しつつあると思った。

家族との関係に加えて、このホームは「地域の人々とのつながり」も大切にしている。以前から町内の方々や利用者も参加して公園等の草取りを続けているが、今では良い関係が出来、お喋りしたり、助けたり助けられたりと、開かれた雰囲気があちこちに感じられる。古くからのお付き合いも少ない街中のホームと、近隣の人達双方の努力の賜物だろう。

また、日当りの良いリビングルームは家事や趣味を楽しむ利用者で、活気に溢れている。昼食の鮭寿司の準備では、男性利用者も団扇で扇いでいる。手袋をして真剣な目つきで鮭の身をほくし骨を取り除く人もある。「切らんとご飯がつぶれる」「そうじゃなあ」「それでええよ」口々に利用者同士の会話も聞こえる。「昔取った杵柄」の顔・楽しくてたまらない顔。賑やかで明るい笑い声が聞こえるホームである。

特に改善の余地があると思われる点 次のような提案をした

利用者側が「ここは、もう一軒の我が家」と感じている事がとてもよく伺われた。この雰囲気をさらに深め、提案もたくさん頂いて下さい。地域の方々との交流もまだこれから探せそうです。運営方針の一つである「生き甲斐の追求」について、色々な配慮が感じられる。今後重度化していく状況も考慮して「残っている能力の引き出し場面や方法」の工夫やチャレンジを、さらに進めて下さい。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か</p> <p>このグループホームの大きな特徴の一つに、母体が医療法人である事があげられる。日常的な往診や検診、状況によっては入院治療も出来る事以外に、週に1回看護師が訪問して、受診の時に出来ない相談にもゆくり対応してもらえる。医院併設のリハビリセンターの療法士のリハビリ治療も利用できる。日常生活上の多角的な指導や研修もあり、こういったサポートが、本人や家族、そして職員の安心にもつながっている。特に病気がある利用者に対して、万全の対応が出来ており、看取りまで視野に入れていっている。</p> <p>こういった「将来的にも安心」という基盤の上に、「一人暮らしの気ままさ」と「共同生活の楽しさ」をブレンドしたようなホームを目指して、職員は真摯な態度でよく頑張っていると思う。</p> <p>運営方針として掲げられている「個性の尊重」と「生き甲斐の追求」についても、ケアプランの上に、そして暮らしの中に見る事が出来た。</p> <p>また「自分が入りたいグループホームにしよう」と職員はよく話し合っている。こんな気持ちが、基盤を包み込んで、暖かく楽しいホームになっている。</p>		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		

記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か</p> <p>庭には菜園が、ベランダにはプランターが沢山置いてあり、花や野菜の手入れ、水遣り、草取り等、楽しんでいる。ホームの近くには公園もあり、散歩し易く、歩行訓練に散歩を日課としている人もある。オクラやブロッコリー等、季節の野菜を使って描くユニークな絵手紙がホーム内に飾られていたり、家族の思いのこもった写真や絵、流れてくる音楽からも、この場を素敵な空間にしようという皆の心意気が伝わってくる。本人・家族・職員の合作でこの場づくりが出来ている。</p>		
------	--	--	--

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		

記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か</p> <p>炊事・洗濯等の家事、雑巾を縫う、絵手紙を描く、オカリナや歌等、好きな事・やりたい事を引き出して、その人の力を発揮出来る場面を作り、達成感を味わってもらっている。「私は、こんなに足が上がるよ」リハビリ体操で、活き活きた表情に加えて、競争意欲の感じられる人もいた。</p> <p>「私、自信がないの、お願い」と寿司の味付けをお願いする職員が居るから、尻込みする利用者の腰も「どっこらしょ」と上がるのだろう。こんな場面一つでも増やして、ホームの勲章にして欲しい。思いがけない発見をしたり、びっくりするような事実は大きく取り上げて、みんなで喜んで欲しい。</p> <p>もちろん、職員のこういった意欲は満々で、テーブルの上のミニ手帳が、それを物語っている。ちょっとした気付き、意見をメモし、ケアにつないでいる。</p>		
------	---	--	--

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		

記述項目	<p>サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。</p> <p>グループホーム等、福祉施設を利用する家族は、えてして自分の家族の事しか見ない様になりがちだ。ところが「このホームの利用者の家族は、全体を見ておられるなあ」と感じる。近隣の人達の思いも、運営推進会議やその他の日常の様子から色々と伝わってくる。こういった関係性を大切にしていける限り、素晴らしいホームに成長していく事だろう。</p> <p>しかし、職員は現状に満足する事なく、当面の目標を「研修への参加」としている。法人内の研修はもとより、年2回以上の外部研修とその伝達講習を義務付けている。</p> <p>また、苦情の報告書やヒヤリハット、事故報告書を見ても、謙虚で、次へのケアへの繋がりが感じられる。何か問題が発生したとしても、プラスの方向へ仕向ける事が出来るだろう。是非、そうして頂きたい。</p>		
------	---	--	--